

あ と が き

いよいよ年の瀬となりました。日本透析医会雑誌5巻3号・通巻10号をお届けいたします。前号では、11月中旬にはお届けするとお知らせしておきながら、又々遅れてしまいました。

今年の秋は、各委員会が精力的に活動しました。適正透析導入ガイドライン作成委員会・適正維持透析療法委員会・災害救急透析医療委員会をはじめ、その他委員会もそれぞれの事業活動に健闘しました。

適正透析に関して行われました諸事業のうち、適正な透析導入のあり方と題したシンポジウムの全容を報告しました。文章及び表の一部に不明瞭な部分がありますが、テープおこし或いはスライドよりの原稿のためによるものです。ご了解いただきますようお願い申し上げます。

シンポジウム報告を踏まえて、慢性腎不全適正透析導入ガイドラインが作成されました。画期的なことであります。又、会員へのアンケートを集計し、安定期における慢性維持透析の保険診療マニュアルも委員会での熱気あふれる中、纏められました。

来年は、医療行政にとって又々変動のときと聞きます。平成2年が会員のみなさまにとって、良い年でありますよう祈念します。

(長谷川 記)